

令和6年度 アオコ発生予測

令和6年度の、西浦土浦入におけるアオコ発生予測の結果をお知らせします。

4月23日に発表された気象庁の季節予報と現在の水質状況を用いて予測した結果、令和6年度夏の土浦入におけるアオコ発生は、昨年度と同程度のアオコレベル2程度で推移すると計算されました。

1 今年度の予測結果

- アオコ予測システムによって計算した結果、今年度の夏季における土浦入（掛馬沖）のアオコは、アオコレベル2程度で推移すると予測されました。これは令和5年度と同程度です。

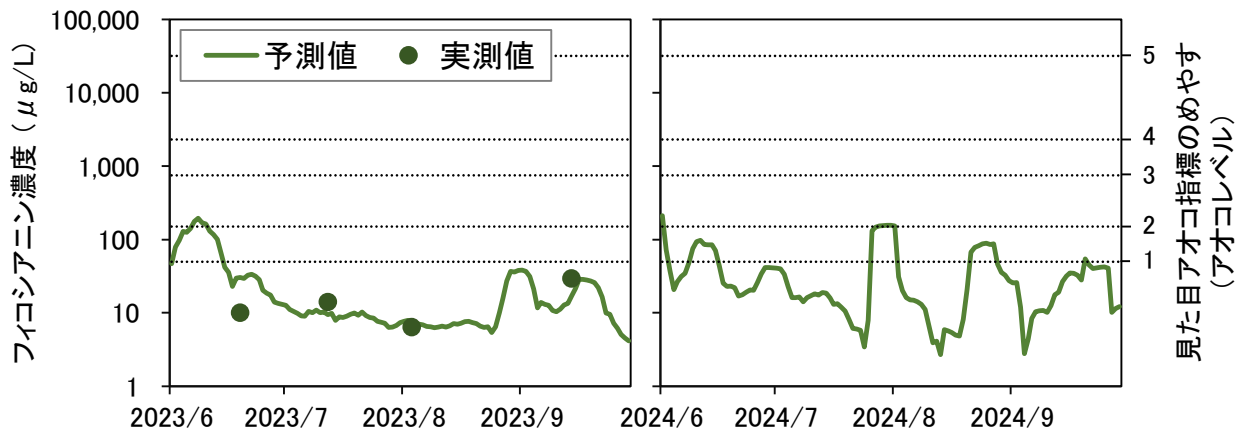


図1 掛馬沖におけるアオコ発生の予測値と実測値（左：昨年度、右：今年度）

2 今年度の天気予報（気象庁）

- 2月20日に発表された関東甲信地方の暖候期予報によれば、6月から7月は平年と同様に曇りや雨の日が多く、そのあとは平年同様に晴れの日が多い見込みです。また、この期間の平均気温は平年より高い確率が60%です。
- 4月23日に発表された関東甲信地方の3か月予報（5月～7月）によれば、この期間の平均気温は平年より高い確率が60%です。

3 アオコ予測システムとは

- アオコ予測システムは、平成29年度に当センターで開発したコンピューターシミュレーションシステムです。過去のアオコ発生を学習した人工知能が、気象庁の季節予報（暖候期予報及び3か月予報）、現在までの気象・水質状況及び過去の発生状況などのデータから、土浦入のアオコの発生を予測します。

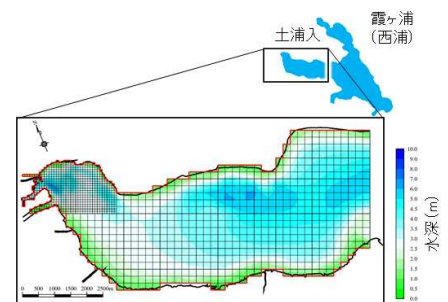


図2 計算範囲の概略